

箱根組ニュース

第304号 2018年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

13年振りの筑波山、つつじヶ丘方面からの霞ヶ浦の眺望と奇岩のルートを堪能する。

2005年秋以来の約13年ぶりの筑波山。実はそんなに時間が立っていったという実感は全くなくて、月日の経つのは早いなとつくづく思った。当時は中山さんも参加されたが、今では中山さんをご存じない方も多くなった。

さて3月18日(日)、久しぶりのつぐばエクスプレスに乗車。駅が地下深くにあることも忘れていた。

7時発の快速つくば行きに乗車したのは川名夫妻、奥村、星野親子、戸丸の6名。田園風景の中を快適に進む電車。7時45分、つくば駅に到着。広い駅前のバス乗り場1番でバスを待つ。

8時発の筑波山行バスに乗車。終点のつつじヶ丘に8時50分着。

ここはロープウェイつつじヶ丘駅だ。広い駐車場に土産店やトイレなどがある。身支度をしてトイレの前でストレッチ。

9時10分歩き出す。9時からロープウェイも動き出したようだ。こんもりした山の中腹には高さ数メートルの大き

な茶色いガマ大明神とその左には赤い鳥居、ガマの下にはミステリーゾーンガマ洞窟とあり、小さな遊園地のようにもなっている。

ロープウェイの先には女体山のそそり立つ岩の山頂も見えている。水郷筑波国定公園の大きな石碑も立っている。

まずは1.8キロ先の女体山山頂を目指し、石の階段を上ってゆく。登山道右側に金色のガマが迎えてくれた。少し登って振り返ると霞ヶ浦がはつきりと見える。少しガスはかかっているがいい景色だ。広い駐車場の向こう側には筑波山京成ホテルの建物が見える。

9時16分、石段が終わると岩だらけの歩きにくい登りになる。ルートを選びながら慎重に登る。4歳の男の子が両親と元気に登っている。岩の道に丸木の階段が付いている。また石段を登ると平坦なところに出る。

9時33分、ここに東屋があり小休止。つつじヶ丘高原と看板がある。628m地点のようだ。このルートはおたつ石コ



ースとある。

ここからはしばらく平たい石の道で歩きやすい。また岩だらけの道を登る。

9時45分、森の中に入ってゆく。

9時53分、大きな岩のルートで歩きにくいのがこれをよじ登る。

10時、筑波山神社からのルートの白雲橋コースに合流。13年前はここを下って行った。木々の間から女体山の山頂がまるで槍ヶ岳の大鐘のように見える。山頂に数人立っているのが肉眼で確認できる。ここからは白雲橋コースだ。

10時10分、「弁慶七戻り」、古来石門と言い聖と

奥村さんより3000円頂きました。打ち上げの残金36円と一緒に会計に入れました。

現在の収支	
繰越入金	33820 円
入金	3036 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	35456 円

切手残数	
82円切手	229枚
40円切手	131枚

俗を分ける門で、頭上の岩が落ちそうで弁慶が七戻りしたと言われているとか。確かに落ちないのが不思議なくらいに微妙なバランスに見える。ここからは奇岩が連続している。

10時15分、「高天原」。

そしてすぐに「胎内くぐり」が続いている。そして「陰陽石」が続く。岩を見ているうちにいつの間にか登っている。「出船入船」「裏面大黒」を通る。

10時23分、岩の道がいったん下りになる。平坦な道が少し続き、熊笹と大きなブナの木が目立つ。

10時27分、大きくそびえる「北斗岩」。ここから険しい大岩の道になる。これを登りきる。

10時37分、「屏風岩」奥に割と大きな神社がある。10時44分、「大仏岩」その先の険しい岩を登ると女体山の神社横に出る。

11時、女体山山頂。たくさんの方が岩の上の絶景ポイントを楽しんでいる。百名山の標柱で記念撮影。景色を堪能して降りる。

11時20分、右側にガマが口をあいている形の岩が3mほどの高さにある。この口に小石を入れるといいことがある？とか、苦勞して全

4月15日(日)は霞丘陵〜阿須丘陵です。

ラクダコース 歩行3時間40分

青梅線河辺駅から、塩船観音寺、霞丘陵〜阿須丘陵を歩き、飯能駅まで行きます。

※何か汁ものを作ります。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、雨具、スパッツ、傘、ポットにお湯、食器、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは4月13日(金)までに

集合	4月15日(日)
東京駅	7:19発 中央特快 高尾行き (前から3両目)
途中駅発	
神田	7:21 お茶の水 7:23 四谷 7:28
新宿	7:35 (12番線)
中野	7:40 三鷹 7:48 国分寺 7:55
立川	8:01着 (青梅線乗換)
8:06発	青梅行き 河辺 8:31着
交通費	東京〜河辺 920円 飯能〜池袋 470円

●お申し込み・お問い合わせ
 Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
 戸丸携帯 090-4541-7066
 携帯メール: satorutomaru@gmail.com
 メール: tomarusatoru@hotmail.com
 箱根組ホームページ
<http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/>



員が小石を入れることに成功。
11時26分、せきれい茶屋。左側にかたくりの里遊歩道があるが葉が少し見えていた

がまだ咲いていない。
11時33分、御幸ヶ原に到着。広いエリアにお土産店、展望台、そしてケーブル筑波山頂駅がある。目の前には男体山がこんもりと見える。トイレ休憩。
11時45分出発。階段状の道を進むと、5分ほどで大きな岩の登りにくい道になる。

12時、男体山山頂。右横にある測候所の前に陣取る。味噌汁を作り、持ち寄りの惣菜でいっもながらの賑やかな昼食。

13時25分、記念撮影をして下山開始。御幸ヶ原に戻ってトイレ休憩。
1時49分、ケーブルカー沿いの御幸

ヶ原コースを下ってゆく。まずは丸木の階段だ。木の根や岩も多くなかなかのコースだ。
2時21分、男女川源流。水が湧いている。少し先に大きな二又に分かれた大杉がそそり立っている。圧倒される見事な巨木だ。少し登りになり、また岩交じりの下り。ここでケーブルのトンネルの上を越える。
中の茶屋跡で休憩。ケーブルの中間点で両方向の車両が見られるのでたくさ



んの人がここで休みながら見ている。³

思ったより長い下りで体力が奪われる。岩も多く歩きにくい。

3時30分、まっすぐ降りてゆくと目の前に筑波山神社が現れる。階段を降り振り返ってお参りする。山頂のケーブル駅が見える。

温泉街を下ってゆく。時間を見て入浴はあきらめ秋葉原で打ち上げにすることで意見が一致した。バスでつくば駅に向かう。

以前行った神保町の魚金に行こうと話がまとまっていたが調べてみると秋葉原店があることがわかり予約を入れると5時半に6名で押さえられた。

つくばエクスプレスであつという間に秋葉原。

秋葉原駅に着き、北方向に5分ほどで魚金秋葉原店は見つかった。店内の半個室の部屋に通され、ビールで乾杯。人気の刺身の大皿と青のりのスープがかかった暖かい豆腐を2つ頼むともうお腹は大満足だ。テーブルの上で30分かけて炊く釜飯も美味しかった。

神保町店もそうだったが居酒屋とは思えない落ち着いた雰囲気と応対の良さですますこの店が気に入った。

山も打ち上げも大満足の日だった。

